

## 令和6年度 地理歴史科 「日本史探究」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	3年情報科（3年7組）選択者
教科書	高等学校日本史探究（第一学習社）	副教材等	最新日本史図表（第一学習社）

### 1 学習の到達目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 原始・古代の日本と東アジア 第1節 日本文化の黎明 第2節 ヤマト政権と律令国家の形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本列島に人々がやってきた</li> <li>2 環境が変わり、定住生活が始まった</li> <li>3 農耕がはじまってくらしが変わった</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島に人類が居住するようになった過程について理解する。</li> <li>・定住化と環境の変化とともに、人々の生活がどのように変わったのかを理解する。</li> <li>・『漢書』『後漢書』『魏志』に記されている、当時の日本列島に関する記述の内容を理解する。</li> <li>・古墳の形状・規模やその分布域を基に、ヤマト政権の成立過程について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・課題への取り組み方とその内容</li> <li>・定期考査</li> </ul>
5	第3節 律令国家の変容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 列島にクニが現れた</li> <li>2 巨大古墳がつくられる</li> <li>3 ヤマト政権の支配が列島を覆う</li> <li>4 争乱のなかから国家が生まれる</li> <li>5 強力な天皇が登場する</li> </ol> <p style="text-align: right;">中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマト政権の大王が倭をどのように統治したのか、他国との関わりも見ながら考察する。</li> <li>・古墳の変遷や、古墳時代に渡来人が伝えた文化を多面的・多角的に考察する。</li> <li>・7世紀における国家体制の整備過程を理解する。</li> <li>・奈良時代の諸政策とその政策が与えた影響、奈良時代の東アジアと外交関係について理解する。</li> </ul>	
6	第2章 中世の日本と世界 第1節 中世への転換	<ol style="list-style-type: none"> <li>6 法律が人々のくらしを変える</li> <li>7 国内が不安定になり仏教に安定を求める</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代前期に行われた、遷都・東北経営・律令政治の再編成・諸制度の整備などを理解する。</li> <li>・貴族政治の展開、文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。</li> <li>・武家政権の成立と展開について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・課題への取り組み方とその内容</li> <li>・定期考査</li> </ul>
7	第2節 鎌倉幕府の展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平安京がつけられた</li> <li>2 長く続く都と教えが成立した</li> <li>3 貴族による政治がおこなわれた</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条氏の権力強化のうえでの画期について、多面的・多角的に考察する。</li> <li>・蒙古襲来は、幕府と武士にどのような影響を与えたのかを理解する。</li> <li>・鎌倉文化が形成された歴史的背景について、多面的・多角的に考察する。</li> </ul>	
9	第3節 室町幕府の展開  第3章 近世の日本と世界 第1節 近世への転換	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 列島全体に動乱が続いた</li> <li>2 守護大名が台頭する</li> <li>3 東アジア世界と交流する</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各地に戦国大名が現れた</li> <li>2 ヨーロッパ文化の到来</li> </ol> <p style="text-align: right;">期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南北朝の動乱、政治や社会にどのような影響を及ぼしたのかを理解する。</li> <li>・室町幕府の組織と財政が鎌倉幕府と比べてどのように変化したのかについて考察する。</li> <li>・室町時代の武士と庶民の暮らしを理解し、一揆の組織が成立した要因と背景を考察する。</li> </ul>	

10	第2節 幕藩体制の確立	3 全国統一がなされた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ文化の到来が当時の日本社会に与えた影響について多面的・多角的に考察する。</li> <li>・織豊政権の政治・経済政策による都市や村落の支配の変化を理解し、国際環境の変化と豊臣政権の対外政策が東アジアに与えた影響を考察する。</li> <li>・幕府の対外政策の推移とアジアの国際情勢の変化について考察するとともに、幕府による貿易統制の意義についても考察する。</li> <li>・享保の改革、田沼政治、寛政の改革における政策の変化や経済の動向の影響やその意義について考察する。</li> <li>・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。</li> <li>・条約改正交渉の過程を理解し、なぜ交渉が難航したのかについて考察する。</li> <li>・日清・日露戦争の原因・経過・結果を理解し、戦後の日本の国際的な立場の変化について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・課題への取り組み方とその内容</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	第1節 幕藩体制の展開	1 江戸幕府が成立した		
11	第3節 社会の変化と幕府の対応	2 蝦夷地と琉球には独自の文化があった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ文化の到来が当時の日本社会に与えた影響について多面的・多角的に考察する。</li> <li>・織豊政権の政治・経済政策による都市や村落の支配の変化を理解し、国際環境の変化と豊臣政権の対外政策が東アジアに与えた影響を考察する。</li> <li>・幕府の対外政策の推移とアジアの国際情勢の変化について考察するとともに、幕府による貿易統制の意義についても考察する。</li> <li>・享保の改革、田沼政治、寛政の改革における政策の変化や経済の動向の影響やその意義について考察する。</li> <li>・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。</li> <li>・条約改正交渉の過程を理解し、なぜ交渉が難航したのかについて考察する。</li> <li>・日清・日露戦争の原因・経過・結果を理解し、戦後の日本の国際的な立場の変化について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・課題への取り組み方とその内容</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	第4章 近現代の地域・日本と世界	3 海外渡航を禁止した		
12	第1節 近代への転換	1 幕政の改革がはじまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ文化の到来が当時の日本社会に与えた影響について多面的・多角的に考察する。</li> <li>・織豊政権の政治・経済政策による都市や村落の支配の変化を理解し、国際環境の変化と豊臣政権の対外政策が東アジアに与えた影響を考察する。</li> <li>・幕府の対外政策の推移とアジアの国際情勢の変化について考察するとともに、幕府による貿易統制の意義についても考察する。</li> <li>・享保の改革、田沼政治、寛政の改革における政策の変化や経済の動向の影響やその意義について考察する。</li> <li>・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。</li> <li>・条約改正交渉の過程を理解し、なぜ交渉が難航したのかについて考察する。</li> <li>・日清・日露戦争の原因・経過・結果を理解し、戦後の日本の国際的な立場の変化について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・課題への取り組み方とその内容</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	第2節 近代国家の形成	2 せまってくる外国船		
	第3節 国際関係の推移と近代産業の発展	3 黒船がやってきた		
		4 江戸幕府が崩壊した		
1	第4節 第一次世界大戦と日本	1 新しい時代の夜明けをむかえた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満洲事変の展開と、それに対する国際社会の見方について考察する。</li> <li>・日中戦争の経過を理解し、日中戦争中の日本が置かれている国際的状況について考察する。</li> <li>・アジア・太平洋戦争の経過・結果を理解し、アジア・太平洋戦争が国内外に与えた影響について考察する。</li> <li>・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・授業プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	第5節 軍部の台頭と戦争の長期化	2 富国強兵がめざされた		
	第6節 日本の再建	3 欧米の考えが入ってきた		
2		1 条約改正は日本にとって大きな課題だった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満洲事変の展開と、それに対する国際社会の見方について考察する。</li> <li>・日中戦争の経過を理解し、日中戦争中の日本が置かれている国際的状況について考察する。</li> <li>・アジア・太平洋戦争の経過・結果を理解し、アジア・太平洋戦争が国内外に与えた影響について考察する。</li> <li>・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・授業プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>
3		2 清との対立が深まった		
		3 ロシアとの大きな戦争を戦った		

### 3 評価の観点

知識・理解	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

### 4 評価の方法

- ・知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
- ・定期考査を評価し、その他の学習活動（ノート、プリントの取り組み状況、授業参加態度、課題など）を加味する。
- ・年間の成績は、各学期（1・2・3学期）の評価を総合して、評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・1年次に学習した歴史総合の内容をもう一度復習し、教科書・副教材以外にも日本史に関する様々な資料（新聞記事など）やテレビ放映等に関心を持ち、日頃から目を通したり、視聴したりするようにしよう。
- ・歴史は、一方の側からのみ考えることは避けましょう。常に多角的にとらえるように意識することが必要です。そのためには教科書に限らず、他の文献や書物に触れたりすることも必要です。絵画や写真、映画なども活用しよう。